

第11回いのちの輝きを考える日

～いつもの力、^{ちから}出雲の地から^{いずも}～

日時 2022年10月15日(土) 13:30～16:30

場所 出雲市役所くにびき大ホール

3密を避けて開催！
ZOOMによるオンラ
イン同時配信もします。



① 基調講演

「スピリチュアルとは何か」

佐藤第二病院院長 田畑正久さん

② 意見交換

田畑正久さん

高橋幸男さん(エスポアール出雲クリニック院長)

今田敏宏さん(島根県立中央病院総合診療科部長)

講師からの言葉

健康の定義の要素に加わろうとして四番目の要素「スピリチュアル」があります。

約35年前の岩手県の国民健康保険の雑誌「らんどあるつと」に、ある病院長が次のような趣旨の文章を書かれていました。――生活は衣食住に関して恵まれてきた。世界一の長寿、豊かな国ニッポンと謳われている。それなのに何となく虚しく充実感がない。物質的な欲望は満たされているのに我々は生きているという実感と喜びが無いのである。これはどうしたことであらうか――

物質的豊かさの中で「生きている実感と喜び」の課題が「スピリチュアル」の要素です。

人間として生まれた意味、生きていることの実感と喜び、死んでゆくことの話は英語の「why」で始まる疑問形に答える領域です。医学、生物学からは答えることのできない哲学的・宗教的な課題なのです。

講師(田畑正久)プロフィール

1949(昭和24)年 大分県生まれ。医学博士、龍谷大学客員教授、大分大学非常勤講師。佐藤第二病院(大分県宇佐市)院長。日本外科学会専門医、指導医、龍谷大学大学院教授(平成21-31年)。1990年頃より、大分県内を中心に「歎異抄に聞く会」を開催。ビハーラ活動、「医療と仏教の協力関係」構築に取り組んでいる。

主催：いのちの輝きを考える日実行委員会

共催：出雲成年後見センター、ELCしまね

後援：島根県、出雲市、島根県医師会、島根県歯科医師会、出雲医師会、島根県看護協会、日本精神科看護協会島根県支部、島根県訪問看護ステーション協会、島根県薬剤師会、島根県老人保健施設協会、島根県介護支援専門員協会、島根県社会福祉士会、島根県精神保健福祉士会、島根県理学療法士会、島根県作業療法士会、山陰言語聴覚士協会、島根県臨床心理士・公認心理師協会、島根県介護福祉士会、島根県医療ソーシャルワーカー協会、出雲市社会福祉協議会、出雲地域介護保険サービス事業者連絡会、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、出雲市立総合医療センター、出雲市民病院、飯南病院、認知症の人と家族の会島根県支部、山陰中央新報社

事前申込必要！
参加費無料
マスク着用願います

【事前申込方法】先着100名まで

①氏名 ②携帯番号(固定電話も可) ③メールアドレス(任意)を記してハガキかfax、メールで下記まで。

QRコード(又はURL)からの申込みもできます。→→→→→→→→

〒693-0014出雲市武志町693-1ふあっと内 井上明夫 宛

携帯 090-4570-6577 fax 0853-25-3401

✉ akichan550212@yahoo.co.jp



<https://forms.gle/JVa2VdMByFdhpbgc7>